

教育委員会の事務に関する  
点検評価報告書

[令和3年度事業]

令和4年8月

男鹿市教育委員会



## 《 目 次 》

1	点検・評価の趣旨	2
2	点検・評価の方法	2
3	学識経験者の知見の活用	3
4	教育委員会会議の開催状況	3
5	教育委員会会議の審議状況	3
6	教育委員会会議以外の活動状況	4
7	令和3年度重点事業の点検・評価	6
	<b>施策1【学校教育の質の向上】</b>	
	(1) ふるさと教育推進事業	6
	(2) 小中学校ICT活用推進事業	7
	(3) 家庭でのICT活用環境整備事業	8
	<b>施策2【学校教育環境の整備】</b>	
	(1) 男鹿北中学校統合事業	10
	(2) 船越小学校整備事業	10
	(3) 新型コロナウイルス感染症対策 環境整備事業	11
	<b>施策3【生涯学習の推進】</b>	
	(1) 明日を創る新成人の集い	13
	(2) 子ども家庭地域連携推進事業	14

## 1 点検・評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正(平成20年4月1日施行)され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が、男鹿市総合計画に基づく重点事業の取組状況について点検、評価を行い、課題の方向性を明らかにすることにより、教育行政の一層の推進と市民への説明責任を果たしていくために、令和3年度に執行した事業について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに市民の皆様に公表するものです。

## 2 点検・評価の方法

本市教育委員会は、毎年度、教育目標を掲げ、その目標の実現に向けた重点事業を実施しており、これらの事業を対象に教育委員会自らが事務の執行状況について、点検・評価を実施したものです。

なお、令和4年度の点検・評価は、令和3年度事業を対象に実施しました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

男鹿市教育委員会名簿（令和3年度在籍）

職名	氏名	備考
教育長（4/14～）	鈴木雅彦	
教育委員	小玉亜紀子	教育長職務代理者
教育委員	吉田貴美子	
教育委員	三浦良忠	
教育委員	目黒重光	

### 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められておりますので、本市教育委員会では、教育に関し学識経験を有する次の方から、意見をいただきました。

○ 越後谷 真悦 氏（新規：秋田大学男鹿なまはげ分校長）

※8月8日（月）教育委員と合同で意見聴取の機会を設定しました。

### 4 教育委員会会議の開催状況

開催日	会議	場所
令和3年5月28日	第3回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
令和3年8月23日	第4回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
令和3年11月18日	第5回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
令和4年2月16日	第1回教育委員会会議	市役所3階第1会議室
令和4年3月14日	第2回教育委員会会議	市役所3階第1会議室

### 5 教育委員会会議の審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び男鹿市教育委員会事務委任規則第2条の規定に基づき、令和3年度は議案17件の審議と、報告事項等11件、合計で28件を取り扱いました。

#### (1) 議会の議決を経る議案に関する意見の申出に関すること。 8件

- 令和3年度教育費 6月補正予算 9月補正予算 12月補正予算 3月補正予算
- 令和4年度教育費 当初予算
- 条例 男鹿市立学校設置条例の一部を改正する条例について
- 財産の取得 小学校学習用端末等、中学校学習用端末等の購入
- 和解及び損害賠償 市有バスの事故に伴う和解及び損害賠償額の決定について（市長専決処分）

#### (2) 教育委員会規則の制定及び改廃に関すること。 5件

- 男鹿市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について  
(令和3年11月24日公布 令和3年男鹿市教育委員会規則第2号)
- 男鹿市立学校設置条例の一部改正に伴う教育委員会規則の整理に関する規則について  
(令和4年2月22日公布 令和4年男鹿市教育委員会規則第1号)
- 男鹿市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について  
(令和4年2月22日公布 令和4年男鹿市教育委員会規則第2号)

○男鹿市教育委員会公告式規則の一部改正について

(令和4年3月18日公布 令和4年男鹿市教育委員会規則第3号)

○男鹿市教育委員会規則で定める様式における押印の取扱いに関する規則の制定について

(令和4年3月18日公布 令和4年男鹿市教育委員会規則第4号)

**(3) 教育施策の基本方針の決定に関すること。 3件**

○教育委員会の事務に関する点検評価報告書について

○令和4年度男鹿市学校教育の基本方針(案)及び重点目標と努力事項(案)について

○令和4年度生涯学習の重点目標と施策の方向(案)について

**(4) 教職員、事務局職員等の人事に関すること。 1件**

○令和4年度教職員の人事異動について

**(5) 報告事項等 11件**

○社会教育委員等の委嘱について

○男鹿北中学校統合準備委員会について

○男鹿市廃校舎活用プロジェクト委員会(仮称)について

○令和2年度事業教育委員会の事務に関する点検評価報告書について

○令和4年度使用教科書(中学校社会科歴史的分野)の選定について

○和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分について

○市内各校のいじめの認知と不登校児童生徒の状況について(9月調査)

○明日を創る新成人の集い(男鹿市成人式)について

○令和3年度秋田県学習状況調査(本市の学力の状況)について

○令和4年3月市議会定例会の一般質問等について

○潟西中学校統合説明会について

**6 教育委員会会議以外の活動状況**

**(1) 総合教育会議**

日時 令和3年12月15日(水)

場所 男鹿市役所 第1会議室

協議事項

- ・男鹿市教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱について
- ・令和4年度における重点的な取組課題について

(2) 入学式

月 日	学 校 名
令和3年4月7日	船川第一小学校、脇本第一小学校、船越小学校、北陽小学校 払戸小学校、美里小学校 男鹿南中学校、男鹿北中学校、男鹿東中学校、潟西中学校

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来賓等出席なし

(3) 卒業式

月 日	学 校 名
令和4年3月10日	男鹿北中学校（閉校式同時開催） 男鹿南中学校、男鹿東中学校、潟西中学校
令和4年3月15日	船川第一小学校、脇本第一小学校、船越小学校、北陽小学校 払戸小学校、美里小学校

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来賓等出席なし

(4) 学校訪問

月 日	学 校 名
令和3年6月4日	船越小学校
令和3年6月30日	船川第一小学校、男鹿南中学校
令和3年7月8日	男鹿東中学校
令和3年7月9日	美里小学校、潟西中学校
令和3年7月15日	北陽小学校、男鹿北中学校
令和3年7月16日	脇本第一小学校、払戸小学校

(5) 学校行事等

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来賓等出席なし

(6) 会議等

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議等出席なし

## 7 令和3年度重点事業の点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に基づく令和3年度から令和7年度までの教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱（男鹿市教育大綱）は、本市の市政運営の指針として策定された「男鹿市総合計画」が大綱と同様の位置付けにあることから、「同計画」における関係部分（教育、学術及び文化に関する部分）を大綱に代えることとしている。

男鹿市教育大綱の施策体系（施策1から施策3までに限る。）に基づき令和3年度に実施された事業の点検・評価は、次のとおりである。

### ■施策1 学校教育の質の向上

- ① 地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクール制度の充実により学校の活性化を図るとともに、地域に根差した教育の一層の充実に努めます。
- ② ICTの活用による学力向上や小・中学校で連携した英語教育を推進するとともに、学校における健康づくりの取組を通して、運動能力の向上及び規則正しい生活習慣の確立を図ります。

#### (1) ふるさと教育推進事業

方針・目標	家庭・地域・行政が一体となって学校をサポートする取組を推進し、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。地域の施設や人材を積極的に活用し、ふるさとの良さを再発見し発信する。
目標値	コミュニティ・スクールのメンバーにアンケートを実施。次の設問についての4段階評価で目標値を設定 ・コミュニティ・スクールの成果について ・コミュニティ・スクールに関する情報（住民周知）について
事務事業の実績	<u>○コミュニティ・スクール</u> (1)各校の第1回運営協議会に市教委指導主事が出席。アンケート結果の報告や年度の重点事項を確認。参加が可能な場合は、2回目以降の運営協議会にも参加。 (2)コミュニティ・スクール情報交換会（9月22日） ・今後の方向性を教育長が説明 ・3校（船一小、船越小、男鹿北中）が実践発表 (3)コミュニティ・スクールの推進に係るアンケートの実施（2月） (4)広報「おが」やおがっこポータルサイトで活動周知 (5)各校の活動費、地域講師謝礼等の補助 ・地域講師活用回数:小学校72回、中学校24回 ・主な活用内容 読み聞かせ、昔語り      クラブ活動      茶道、箏、民謡、太鼓 なまはげなどの地域行事      野菜栽培      ミシン、水泳、書写、合唱 キャリア講話 <u>○おがっこ宿泊体験学習</u> ・キャンプ場入場料、コテージ・テント使用料等を補助 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から宿泊は中

	止。日帰りで二日間実施した。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	(説明) コロナによる地域行事等の中止等で従来の活動ができず、評価が下がったが、コミュニティ・スクールの推進により、地域と学校が一体となった活動が実施できる。男鹿市の施設や人材を活用した学習を実施することで、ふるさとのよさを知るきっかけ作りとなっている。
点検による事業の課題	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 (具体的な課題及び取組) コミュニティ・スクール事業を導入して6年。各校において特徴のある取組が展開され、地域の力を学校教育の充実につなげてきた。また、子供たちには男鹿を誇りに思う気持ちや、ふるさとの担い手としての気持ちも育ってきている。今後は「地域を核とした学校づくり」とともに「学校を核とした地域づくり」を進めることができるよう、学校が積極的に地域に出向き、地域素材や地域人材の活用を推進したい。

## (2) 小中学校ICT活用推進事業

方針・目標	教育現場での ICT の活用を推進することで、児童・生徒の「学びの深化」「学びの転換」といった学習活動の一層の充実を図ることを目的とする。
目標値	教員向け研修会の実施 (回)
事務事業の実績	<u>○ICT 支援員の配置 (委託先:株式会社 ALL-A)</u> (1)各校への配置 ・船川第一小 週 5 回 (県事業:ICT を活用した授業改善推進事業) ・その他 8 校 週 1 回 (2)各校における ICT 支援員の主な業務内容 ・授業中の教師、児童生徒の機器操作のサポート ・教師の授業づくりの支援 ・ICT 環境の整備 ・校務 (オンライン会議等) のサポート ・校内研修講師 <u>○教職員研修会</u> (1)合同研修会 (冬季休業中) 各校の取組 (2)各校での研修会: 8 校で実施 ・授業支援ソフトの活用について ・デジタル教科書の活用について (3)おがっこ通信や全校共有フォルダを活用した情報共有 <u>○モバイル Wi-Fi ルーターの貸出し</u> (1)機種等: グローバル Wi-Fi (2)保有台数: 50 台 (3)令和 3 年度の貸与実績: 11 台 (うち 4 台は年度内に返却) (4)家庭でのタブレット端末の活用 ・長期休業中の持ち帰り と Wi-Fi 環境の確認は、すべての学校で実施 ・学校間での差が大きく、定期的に家庭に持ち帰り、学習に活用している学

	校と、家庭での活用が進んでいない学校がある。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	(説明) ・ICT 支援員の配置により、ICT 機器の活用に伴う教員の負担が軽減される。 ・段階に応じた研修会の実施により、授業での活用の後押しとなる。 ・ルーターの貸出しにより、家庭によって異なる通信環境の差が解消され、家庭学習での ICT 機器の活用が推進される。
点検による事業の課題	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他
	(具体的な課題及び取組) ・ICT 環境や機器の整備が進むにつれ、各校での活用も活発になっている。 ・端末の持ち帰りに向けての環境も整っている。 ・学校間、教師間の活用への意識差を埋めていく必要がある。

### (3) 家庭での ICT 活用環境整備事業

方針・目標	感染症流行の影響による遠隔授業に備え、家庭でも ICT 機器を活用し、継続的に学習効果を上げる安心・安全な環境を整えるため、必要な物品やソフトウェアを準備する。
目標値	感染症流行による学級閉鎖及び長期休業中の持ち帰り (校) ※令和 4 年度以降は、全校に拡大
事務事業の実績	GIGA スクール構想の実現のため、令和 2 年度に「小中学校 ICT 整備事業」により学習用端末を児童生徒 1 人 1 台配備。(1, 218 台) 令和 3 年度は、家庭への持ち帰りに対応した ICT 環境を整備した。 ・学習用端末付属品 (AC アダプタ、インナーケース) 7, 112, 490 円 ・ウイルス対策ソフトの端末設定 924, 462 円 ・フィルタリングシステムの導入 9, 411, 710 円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	(説明) 新型コロナウイルスの影響で休校措置等がとられた際にも切れ目ない学習環境を提供するため、家庭への持ち帰りに対応した ICT 環境を整備した。 しかしながら、長期休業中の持ち帰りが ICT 教育への習熟度の差から、全校の持ち帰りにはつながらなかったが、導入初年度で半数の学校が持ち帰っていることから、一定の成果はあったものと思料する。
点検による事業の課題	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他
	(具体的な課題及び取組) ICT 環境の整備については、児童生徒の 1 人 1 台端末、校務支援システムの整備が完了したものの、タブレットの耐用年数が 3~4 年といわれる中で、適切な維持管理をして児童・生徒の学習環境の確保が必要である。 また、耐用年数終了後の端末の更新 (購入又はリース)、必要な対策 (修繕やソフトウェアのアップデート) を計画的に行う必要がある。

### ■学識経験者意見等

- 市のコミュニティ・スクールの取組は、他市に先駆けて実践されてきたものと伺っている。地域の方が学校に入ることによって地域と学校の一体化によるメリットがある一方で、学校の事情を知らない人が入ることによる問題もあるのではないか。例えば、今後の中学校部活動において、普段の人間関係を見ていない地域の方に部活動を任せたりすることも心配している。
- ICT の活用により、子供たちが工夫して「書く」ことがなくなるのではないかと危惧している。アナログの良さが失われないようにデジタルとの使い分けも必要ではないか。デジタル化の方向性が 100 パーセント良いものなのか検討の余地があるのではないか。

(その他教育委員意見)

- コミュニティ・スクールの取組においては、情報交換会の充実を図ってほしい。
- 学校訪問においても、ICT の活用は、学校間の差が大きいと感じた。学校間で競争できるような仕掛けも面白いのではないか。
- 端末の更新時の財政負担が大きい。今から何らかの手立てを考えてほしい。

## ■施策 2 学校教育環境の整備

児童生徒が安全な教育環境で学び、充実した学習活動が展開できるよう、学校施設・設備の整備に努めます。

### (1) 男鹿北中学校統合事業

方針・目標	男鹿市立小・中学校再編整備計画（令和 2 年 12 月策定）に基づき、小中学校の規模の適正化を図る。 ※本市の目指す適正規模「小・中学校とも 1 学年 2 学級以上（1 学年 1 学級であっても 20 人程度の児童生徒がいる規模）」
目標値	複式学級の解消（学級数）
事務事業の実績	『男鹿市立小・中学校再編整備計画』に基づき、令和 3 年度から令和 12 年度までの期間で学校規模の見直しと学校施設の老朽化への対応を進めている。学校の適正規模は、「小・中学校とも 1 学年 2 学級以上（1 学年 1 学級であっても 20 人程度の児童生徒がいる規模）」と考えており、令和 4 年度には男鹿北中学校を男鹿南中学校へ統合することができた。 ・統合準備委員会（4 回開催） 23,400 円 ・備品運搬、粗大ごみ処理 1,295,250 円 ・在校生学用品等支給 1,378,407 円 ・閉校事業実行委員会補助金 900,000 円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  (説明) 複式学級は、北陽小学校、払戸小学校において発生している。令和 7 年度には北陽小学校で全学年が複式学級となるほか、令和 9 年度には美里小学校でも複式学級が発生する見込みである。 複式学級を解消するため、払戸小学校は、令和 7 年度に船越小学校へ統合、北陽小学校は令和 7 年度以降に船川第一小学校へ統合する予定である。
点検による事業の課題	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他  (具体的な課題及び取組) 再編整備による教育環境整備として、(1)コミュニティ・スクールの更なる充実を図り、「地域とともにある学校づくり」の実現、(2)タブレット端末等の ICT 機器を活用し、児童生徒一人ひとりの資質や能力の向上、(3)老朽化した施設の建て替えなど、健康的かつ安全な学校施設の整備を進めていく。

### (2) 船越小学校整備事業

方針・目標	昭和 51 年度に竣工し、平成 18 年度に耐震補強工事を実施して安全性は確保しているものの、RC 造の目安となる 20 年ごとの大規模改修は行っておらず、老朽化が著しく大規模改修が必要である。 また、現在整備中の ICT 機器や学校設備の適切な維持・管理に努め、児童にとって良好な学習環境の確保と 1 日の大半を過ごす生活の場としての教育環境の確保が必要となっている。
-------	--

目標値	学校整備による教育環境の向上
事務事業の実績	<p>『男鹿市学校施設長寿命化計画』では、学校施設の老朽化への対応を進めており、築46年経過した船越小学校は校舎全体の大規模改修により長寿命化を図る計画である。このため、令和3年度には、校舎全体の現況診断を行い、建物外部・内部の現況や建築設備において著しい劣化が進行していることが明らかとなった。</p> <p>また、大規模改修に当たっては、アスベスト含有の事前調査が義務付けられており、30検体を分析し、アスベストの含有状況を把握した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物調査診断業務 880,000円</li> <li>・アスベスト調査業務 2,827,000円</li> </ul>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説明)</p> <p>築46年となる建物の躯体には目立った損傷や劣化が見受けられなかったものの、外部・内部の状況や建築設備(電気・機械)において著しく劣化が進行しており、大規模改修による全面的な更新が必要である。</p> <p>また、屋内運動場棟・給食室棟・音楽室棟は平成18年度の耐震補強・改修等により比較的健全な状態であることから、一定の予防保全を考慮しながら部分修繕工事を行う。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 財政負担を可能な限り抑制しながら、児童にとって良好な学習環境の確保と現在整備中のICT機器や学校設備の適切な維持・管理に努め、教育環境の向上を図っていく。</li> <li>○ 令和5年度から2か年で大規模改修工事を行う船越小学校は、余剰教室がなく、授業継続を前提とした工事の実施計画に課題があるほか、先行きが不透明な世界情勢により資材単価等の高騰が事業費増につながるおそれがある。本年度は、大規模改修に向けた実施設計を行うとともに、令和7年度の屋外運動場整備に向けた整備規模も検討していく。</li> </ul>

### (3) 新型コロナウイルス感染症対策環境整備事業

方針・目標	新型コロナウイルス感染症対策に配慮した「新しい生活様式」に則した施設整備をし、感染症拡大防止を図る。
目標値	調理場内での感染拡大防止
事務事業の実績	<p>○消毒保管庫の更新(3台)</p> <p>(1)調理場名:若美学校給食センター(食数:529食)</p> <p>(2)更新前の状況 20年前の設備のため修繕不可能。取手の不具合や温度センサーの故障あり。</p> <p>(3)更新後の状況 食器のみならず、調理器具等のすべての消毒保管ができています。</p> <p>○自動ドアの更新</p> <p>(1)調理場名:若美学校給食センター</p>

	<p>(2)更新前の状況 定期点検で不具合。自動で開閉しない状況であった。</p> <p>(3)更新後の状況 非接触の状況が保たれており、ドアを介しての感染リスクがなくなった。</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説明) 老朽化していた消毒保管庫3台、不具合の見られた自動ドアを更新したことにより、環境衛生面での心配が解消され、コロナ禍での安全安心な給食提供のために大きな成果があったと考える。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組) 調理場の設備は老朽化が進み不具合が生じているものも多く、故障等により使用できなくなった場合、適切な衛生環境を維持しながら安全な給食を継続して提供することが困難になる可能性がある。引き続き、年次計画により設備の修繕や更新を行い、調理場の衛生環境を維持していく。</p>

#### ■学識経験者意見等

- 小規模校から大規模校に統合となったことで、生徒の様子がどう変化しているのか。今後は、潟西中学校が男鹿東中学校に統合するので、スムーズな統合になるよう進めてほしい。
- 廃校舎が増えている。今後の廃校舎の活用の在り方を考えてほしい。  
(その他教育委員意見)
- 北陽小学校では令和7年度に全学年で複式学級となる。地元の意見も大事であるが、子供のための統合であってほしい。
- 中学校の制服が高価である。制服の在り方も検討してほしい。
- 学校統合により給食施設の民間委託も進む。今年度民間委託した若美学校給食センターの民間委託の検証が必要である。
- 船越小学校のグラウンド整備（水捌けの改善）も懸案事項である。

### ■施策3 生涯学習の推進

- ① 各公民館、図書館、市民文化会館などで、いつでも、だれでも自由に学習機会を選択して学びあえる環境整備と、個人の学習成果が地域社会に還元されるような生涯学習を推進します。
- ② 家庭、学校、地域が連携・協働して子育ての支援体制の充実を図るとともに、青少年の豊かな人間性や社会性、地域の教育力の向上に努めます。

#### (1) 明日を創る新成人の集い（男鹿市成人式）

方針・目標	成人としての自覚と責任感を高揚し、明日の男鹿を担う世代の限りない発展を願い、成人としての門出を祝福するために開催する。
目標値	事業対象者の成人式参加率 対象者参加人数／対象生年月日の住民基本台帳登録者数
事務事業の実績	<p>日 時：令和4年1月9日（日）13：00～</p> <p>会 場：男鹿市民文化会館 大ホール</p> <p>参加数：75名（年度内に21歳を迎える方）</p> <p>住民基本台帳登録者 127名の59.05%（R元95.2%）</p> <p>当該年度市内中学校卒業生 182名の41.20%（R元75.5%）</p> <p>○内容</p> <p>第1部 式典 男鹿市成人式 教育委員会主催</p> <p>第2部 明日を創る新成人の集い 実行委員会企画・運営</p> <p>お祝いメッセージ、新成人誓いの言葉、記念撮影など （式典部分について、動画配信サイトでライブ配信）</p> <p>○実行委員会</p> <p>成人により構成（7名：各中学校卒業生による）</p> <p>8月～12月に実行委員会を5回、事前リハーサルを2回実施し、当日は司会・進行を務めた。</p> <p>○感染症対策ガイドライン（令和3年度策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的感染対策、体調管理の徹底</li> <li>・事前予約制、座席指定、会場定員の50%以下の利用 等</li> </ul>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>（説 明）</p> <p>令和3年度は感染症に対する基本的な予防を行いつつ、開催に当たってガイドラインを策定、対象者とその家族が安心して参加できるよう配慮を重ねたが、対象者の59%である75名の参加にとどまった。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>（具体的な課題及び取組）</p> <p>コロナ禍での開催であったが、コロナの動向を注視しながら、事業内容も成人式実行委員会と知恵を出し合い、2年越しで開催することができた。</p> <p>事前の準備、当日の運営に際し、コロナ禍での実施を常に意識していたが、令和4年度以降はコロナの終息も考えられるため、アフターコロナに向けた開催方針について検討していかなければならないと思慮する。</p>

(2) 子ども家庭地域連携推進事業

方針・目標	<p>学校と家庭、地域が連携・協働して「子どもたちの学びや成長」を支えとともに、地域住民の生涯学習、地域のつながり、絆を強化し、地域活性化を図る。</p> <p>また、家庭教育支援チームが主体となって、子どもを育てる保護者等への寄り添う支援活動を行う。</p> <p>学校行事等において、教師に代わって地域住民が子供見守り活動を行うなどにより、学校の働き方改革につなげる。</p>
目標値	<p>参加率数</p> <p>※総合計画 5年後の目標 ⇒ 放課後子ども教室児童参加率 8.0%以上</p>
事務事業の実績	<p><u>○放課後子ども教室</u></p> <p>(1)活動内容 市内全6小学校で放課後の空き教室を利用し、地域の方と様々な体験学習を行う放課後子ども教室を開催した。各学校単位に地域学校協働活動推進員を委嘱し、企画・実施した。</p> <p>(2)企画実施主体 地域学校協働活動推進員</p> <p>(3)実施回数等 6校合計41回、814名(参加率13.6%) 平日(小学校6校)40回 休日(全校対象)1回</p> <p>(4)特色ある内容 ・ネイチャーゲーム ・世界にひとつだけの絵本づくり ・わらでリースをつくろう ・バブルボールで遊ぼう ・手話でたのしくゲームをしよう ・WA ROCK OGA 等</p> <p><u>○協働活動</u></p> <p>(1)活動内容 地域のサポーターによる授業等の学習補助(地域講師の活用)、学校行事支援(子どもの見守り活動等)、学校環境整備(図書整理等)等を実施した。</p> <p>(2)実施主体等 協働活動サポーター</p> <p>(3)実施回数等 PTA時子ども見守り 4小学校 8回 学校図書整理 1回 家庭科授業サポート 2回</p> <p><u>○家庭教育相談支援事業</u></p> <p>(1)活動内容 保育園、小・中学校や各関係機関でのイベントや保護者学習会などで、家庭教育や子育てについて気軽に語り合える「お茶っこサロン」を開設した。 また、各分野の講師を招き、家庭教育や子育てに関する学習機会や情報の提供をする子育て元気アップひろば等を開催した。</p> <p>(2)企画実施主体 男鹿市家庭教育支援チーム 10名</p> <p>(3)実施回数等 「お茶っこサロン」 16回 (延べ310名) 「子育て元気アップひろば」 3回 (49名) 「子育て元気アップ講座」 1回 (11名) 「子ども×地域 元気アップひろば」 1回 (延べ80名)</p>
点検評価	<p><input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る</p>

	<p>(説明)</p> <p>地域学校協働活動推進員を各小学校に配置し、地域と学校をつなぐ総合窓口としている。学校の実情に応じて、工夫しながら放課後子ども教室を企画実施している。</p> <p>活動や感想などをチラシの裏面に楽しく書いて配布することにより、子どもたちのほか保護者にも活動を知っていただき、参加率の上昇につながっている。参加人数制限など感染対策により参加率は少し減少したが、安全安心な活動となっている。</p>
点検による事業の課題	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他
	<p>(具体的な課題及び取組)</p> <p>コロナ禍当初は、活動が中止となったりしたが、感染拡大防止対策を講じながら活動していくことで、多くの子供や地域住民が参画し、事業展開をすることができた。より多くの地域住民が学校と協働で、子供たちの成長を支え、地域活性化を図っていくため、地域と学校をつなぐ橋渡し役を担う地域学校協働活動推進員の活動サポートを強化しながら、新しい人材確保も必要である。</p>

**■学識経験者意見等**

- 成人式の参加率が目標値を下回っている。卒業生であって、住民基本台帳登録者でも市に居住していない場合がある。参加率を改善する取組が必要。
- (その他教育委員意見)
- コロナ禍での開催であったが、必要なものが詰まった良い成人式であったと思う。
  - 成人式は、中学校の恩師(担任)の参加を是非ともお願いしたい。
  - 子ども家庭地域連携推進事業における人材の確保、掘り起こしを進めてほしい。